

ミクロネシア情勢（2015年8月分）

1 内政

エーサボンペイ州知事（停職中）に対する弾劾裁判第1回公判が開廷される

6日、エーサ・ボンペイ州知事解任にかかる州議会決議の適法性を争点とするボンペイ州弾劾裁判所第1回公判が開廷された。まず、エーサ知事法定代理人側が「解職決議が州官房長に対して送達され、知事本人に対して送達されておらず、解職決議の送達が適正に行われていない」と抗弁した。これに対して、裁判官は、連邦政府及びボンペイ州政府双方の手続き判例を先例にした上で、「今回の解任決議の送達は、知事本人が公正かつ適切な弁明の機会を有するのに十分な余裕をもって執り行われており、知事本人の権利を脅かすものではなく違法性はない」と裁定した。

27日には、弾劾裁判所が、連邦議会議員特別選挙に関連して本件弾劾裁判と利害関係を有する州議会議員の投票は無効であり弾劾決議は成立していないとするエーサ知事の主張を退けたことから弾劾裁判は証拠開示手続きが開始されることとなる。

なお、弾劾決議は州議会内部専権事項であって、弾劾裁判所には審査権限がなく、今次の裁判所側の裁定の法的位置付けについては議論の余地があるとする意見もある。

クリスチャン大統領、組閣手続きを整えるべく、連邦議会特別会期を招集

クリスチャン大統領はシミナ連邦議会議長宛て書簡で、5日間の特別会期の招集を要請し、14日から右第19期連邦議会第2特別会期が開催された。同特別会期においては、自由連合協定（Compact）による米国財政支援金の各州及び各プロジェクトへの配分が決められた。また、未承認の新内閣メンバー及び連邦議会承認を要する行政ポストに関する候補者の指名文書が連邦議会に提出されたが、出席連邦議員が少なかったこともあって承認は行われなかった。

2 外交

米海軍艦船が漂流ヤップ船を救出

7月15日、西部太平洋地域の定期航行中の米海軍艦船が、ヤップ州からグアムに向けて航行中に燃料切れのため漂流していたヤップ州登録の小型船（8名乗員）を救出した。

また、7月19日には、フィリピンのスービック海軍基地へ航行中の米海軍海洋調査船「Impeccable」号が、ミクロネシア連邦海域で11名乗り漁船を救出し

ている。

長崎原爆犠牲者慰霊平和記念式典に出席するシミナ連邦議会議長一行壮行会の開催

5日、日本大使公邸において、長崎での原爆犠牲者慰霊平和記念式典出席に参加するシミナ連邦議会議長一行の壮行会が開催された。坂井大使は今回の慰霊訪問が実現したことを大変喜ばしく思うと共に、日本とミクロネシアの交流を更に深め、また、日本での滞在を楽しんで欲しい旨述べた。シミナ議長は、ショートノータイスな依頼にもかかわらず、日本外務省関係者のおかげで長崎原爆犠牲者慰霊平和記念式典への出席が叶ったことに感嘆すると共に、自分は日本の原爆慰霊式典に参列したいとの希望を以前より持っていたので、今次の訪問で同希望が叶うことを大変喜ばしく受け止めている旨述べた。

シミナ連邦議会議長一行が長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参列

シミナ連邦議会議長は Martin 副議長、Perman 連邦議会議員とともに、日本の長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参列するために訪日した。

式典中の生存者の体験談に、連邦議会議員一行メンバーの目は潤んだ。

シミナ連邦議会議長は、長崎市関係者に対して、恒久平和に込める自身の強い志を伝達した。(17日付け報道)

中国広東省政府一行がヤップ州訪問

5日、ヤップ州政府の招待に応じる形で、広東省政府一行がヤップ州を訪問、州政府及び民間団体と意見交換をした。一行メンバーは、「広東海外友好協会」事務局長、広東省公衆衛生・家族計画局長、教育スポーツ局次長及び広東省中山市関係者から構成され、リー在ミクロネシア連邦中国大使も同行した。

ヤップ州商工会議所との会議では、経済及び教育問題について、また、ヤップ州スポーツ協会との会議では2018年ミクロネシア・ゲームにかかわる支援等について意見が交わされた。

国連安保理非常任理事国としてのインドへの支持獲得、太平洋島嶼国に秋波

21日、第2回印・太平洋島嶼協力フォーラム(FIPIC)で、インド政府はミクロネシア連邦を含む14の太平洋島嶼国が関心を有する海洋経済開発分野への投資を活発化させていくことを述べると共に、太平洋島嶼国による国連安保理にかかわるアピールを支持していくと発表した。

FIPICでの主要トピックは気候変動問題であり、インド政府は海洋及び沿岸測量調査分野においてインド海軍を巻き込んで太平洋島嶼国のニーズに応じてい

くと強調し、また、地理地勢測量は海洋及び森林資源管理保全、海洋沿岸研究、気象変化・気候変動への対応及び防災措置といった幅広い部分で太平洋島嶼国に対する支援材料となると力説した。

また、インドは、FIPIC 通商事務所をインド国内に、宇宙衛星モニタリングステーションをフィジーに、また、医薬品製造ユニット、Institute for Sustainable Coastal and Ocean Research 及び Biology Research Station を太平洋島嶼地域に設置する考えを示した。

クリスチャン大統領、Du Qiwen 中国特使と面会

27 日、Du Qiwen 太平洋島嶼地域特使はクリスチャン大統領を表敬訪問した。同特使のミクロネシア連邦訪問は今回が 2 度目となり、過去 26 年間にわたる両国外交関係によって築かれた友好関係をもとに更なる両国関係の深化についてクリスチャン大統領との間で意見が交換された。クリスチャン大統領から特使に対して、来年ミクロネシア連邦が開催国となる太平洋諸島フォーラム（PIF）への支援が要請された。

クリスチャン大統領、英国大使が信任状を捧呈する

28 日、Roderick Ian Drummond 在フィジー英国大使が兼轄国であるミクロネシア連邦のクリスチャン大統領に信任状を捧呈した。英国はミクロネシア連邦と 23 年前に外交関係を樹立している。

豪州がヤップ州に医療保健サービス・チームを派遣予定

ヤップ州保健サービス局は、9 月 9 日～16 日の期間、耳鼻咽喉診断を専門とする豪州医療チームが来島し島民に医療診断・治療サービスを行う予定を発表した（24 日付け報道）。

3 経 済

漁業オブザーバー及び港湾検査員資金に係る監査の実施

7 月 16 日 連邦監査局は 2012 年から 2014 年度の漁業オブザーバー及び港湾検査員の回転資金に係る監査報告を公表した。8 万ドルの入漁料収入が漁業オブザーバー及び港湾検査員の回転資金として積み立てられているが、法律に基づけば本来これらの資金は政府の一般会計に繰り入れる必要のある資金であることを指摘した。また、監査では NORMA（国家海洋資源管理局）が毎年議会に報告すべき同資金の年度末の報告を行っていないこと、オブザーバー等の源泉徴収税額や社会保障費が計上されていないことについても指摘している。2012 年から 2014 年の間における監査不能な資金は 1.2 百万ドルを超えていると指摘した。

4 経済協力

PWMS と EPA 間におけるエクスカベータの利用に関する合意書署名式が開催

7月24日、日本大使公邸において、EPA（ポンペイ州政府環境保護局）とPWMS（ポンペイ州廃棄物管理サービス）との間でエクスカベータの利用に関する合意書・MOU（Memorandum of Understanding）の署名式が行われた。ノンプロ一般無償資金援助として、在ミクロネシア日本大使館はポンペイ州にエクスカベータ3台を供与し、機材はポンペイ州のゴミ処理場で使用されることとなる。MOUの署名により、PWMSとEPAが協力してエクスカベータのオペレーションや管理、保管を行っていくことが約束された。

坂井大使はEPAとPWMS両者が、供与されたエクスカベータを活用し、ポンペイ州の廃棄物処理システムの継続的な改善を図っていくことを期待する旨述べた。

新たな Peace Corps Response Volunteers の着任

7月27日、11名の米国 Peace Corps Response Volunteers が、Peace Corps Director の Robert Reid 氏の前で職務宣誓を行った。同宣誓式には、ローゼン在ミクロネシア連邦米国大使及び Kephais 教育大臣が参列した。

11名の配属内訳は、教育施設・組織等の充足具合の認証業務の専門家として4名（チューク州2名、ヤップ州2名配属）、教育カリキュラム編成の専門家として2名（チューク州1名、ヤップ州1名）、学校運営の専門家として1名（チューク州）、人材育成の専門家1名（コスラエ州）、農業統計の専門家1名（ヤップ州）、青少年活動の専門家1名（ヤップ州）及び防災・災害対応の専門家1名（チューク州）となっている。

9月及び10月には、台風 Maysak の被害を受けたチューク州及びヤップ州における復興プログラムへの支援要員も含め更なる Peace Corps Response Volunteers 隊員の着任が予定されている。

中国医療チームがヤップ州を訪問

広東省の医療チームが8月8日から12日までヤップ州を訪問し、ヤップ記念病院内にて心臓病、成人病等の患者の診断・治療奉仕活動に当たった。

広東省医療チームは、ヤップ州に到着する前に既にフィジーとパプアニューギニアで診断・治療奉仕活動を終えており、今回のヤップ州での活動は太平洋島嶼地域での巡回医療奉仕ツアーの一環と位置づけられている。

同医療チームは、12日にヤップ州での活動を終えてグアム経由で広東省に戻った。

ポンペイ州クリニックカー引渡式の開催

14日、草の根無償金により供与されたクリニックカーのポンペイ州立病院への引渡式が開催された。クリニックカーによって子供達やポンペイ在住者へ基礎的な医療が提供されることとなる。

坂井大使はクリニックカーの供与がポンペイ州の医療の提供に貢献し、日本とミクロネシアの「絆」、強い友好関係にあることを象徴していると述べた。また、ロザリオ保健局長はクリニックカーにより地方に住む交通に制限のある人達にも基礎的な医療の提供が可能となる旨を述べた。

コロニア小学校保安フェンス引渡式の開催

20日、草の根無償資金により整備したコロニア小学校保安フェンスが完成し引渡式が開催された。同小学校に通学する小学生が安心して学習する環境が確保されることとなる。

坂井大使は、国は教育によって形作られるものであり、ミクロネシアの教育環境の改善に貢献できたことを誇りに思う旨を述べました。また、フェンスの整備が生徒達の学習に貢献するとともに日本との友好、「絆」となることを期待すると述べました。ピーターソン州知事代理は日本からの支援に感謝している旨を述べ、テープカットにより式は終了した。

JICA「世界の笑顔」展示イベントの開催

25日にコロニア小学校で27日にはオオミネ小学校においてJICA「世界の笑顔」展示イベントが開催された。JICA青年海外協力隊大西隊員は両小学校において、つるしたTシャツでラインを作り風にそよがせ「ひらひら」させる「世界の笑顔」展示イベントを開催した。6月に始まった当企画はウズベキスタン、スーダン、ガーナなど10の異なる国に派遣されている海外協力隊の企画により展開されている。

5 その他

海洋気象観測船「啓風丸」・「凌風丸」の見学会

海洋気象観測船「啓風丸」の見学会が1日に在留邦人を対象に、また海洋気象観測船「凌風丸」の見学会が19日にミクロネシア短期大学（COM）の海洋学科の学生を対象に開催された。見学会では巨大な観測機をはじめ、操縦室や研究室、通信室、食堂や洗濯室などの船員の生活スペースなどを見学し、船舶の概要と観測内容について船長や観測長から説明を受けた。

気象庁と在ミクロネシア日本国大使館の協力の元で開催された見学会には約

20名の在留邦人と13名のCOM海洋学科学生らが参加し、同学生からは見学の終わりに凌風丸船長らに対して見学会招待への感謝と海洋学を学ぶ上で大変貴重な体験になったとコメントが述べられた。また、両日の夕刻には大使公邸にて交流会が催され、在留邦人と船員との間で和やかな交流が持たれた。

ポンペイ国際空港で本格的な航空機事故緊急対応訓練

12日、米国連邦航空局 (FAA) の係官立ち会いの下、悪天候にもかかわらず、航空機事故を想定とした緊急対応訓練が行われた。

今次の訓練においては、空港到着直前にボーイング737機（乗客141名、乗務員9名想定）のエンジン2基が発火・爆発し、空港に着陸を試みるというシミュレーションであり、Aerodrome Flight Information Service (AFIS)、Airport Rescue Fire Fighters (ARFF) 及び Air Traffic Control Tower (ATCT) が連携をとりながら、歩ける負傷者と担架が必要な負傷者を迅速に識別し、ランウェイ側の仮設救護ポストで応急措置をとり、また、炎上した航空機の消火活動にあたるという臨場感があふれる訓練となった。

訓練の指揮をとった FAA の Mr. Simpson 係官は、「多くの緊急対応訓練に関与してきたが、反省点のなかった訓練は過去になかった。今次の訓練で、ポンペイ空港の緊急対応部局の関係者が、個々の反省ポイントを判断し対応を今後検討して欲しい」とコメントした。

なお、FAA 係官立ち会いの下での航空機事故対応訓練は、昨年ヤップ州で、また、数週間前にチューク州とコスラエ州で既に実施済みであり、Simpson 係官はマーシャルに移動し同様の空港での緊急事態対応訓練を指揮する予定となっている。

Habele 学費支援奨学制度をミクロネシアの優秀な生徒に

ミクロネシアで以前に米国平和部隊隊員として活躍していた元隊員が主宰する Habele 奨学金の支援を受けて、2015-2016 年度において男子生徒6名と女子生徒6名が、Saint Mary's 高校、Yap Catholic 高校、ザビエル高校、Calvary Christian Academy を含む私学高校に通っている。同奨学金は、学費の一部を補助するもので、奨学金は奨学生個人の名前で学校事務局に直接払い込まれ、奨学生は学業成績を Habele 奨学金事務局に毎季送付する必要がある（20日付け報道）。

（了）